

平成26年

火災・救急・救助
などの活動概況



©稲沢市いなッピー
火の用心

稲沢市消防本部

目 次

稲沢市管内概要	1
緊急出動概況	2
訓練指導及び調査概況	4
予防概況	6

火災

火災概況	9
年別出火件数・年別損害額	10
署別出火件数・月別出火件数	11
曜日別出火件数・時間別出火件数	12
火災による死傷者数	13
出火原因別出火件数・出火原因の推移	14

救急

救急概況	15
種別ごとの救急出場件数	16
署別救急出場件数・月別救急出場件数	17
医療機関別搬送人員・時間別救急出場件数及び搬送人員	18
傷病程度別搬送人員	19
収容所要時間別搬送人員	20
曜日別救急出場件数及び搬送人員	21

救助

救助概況	22
------------	----

稲沢市管内概要

面積・人口・世帯数

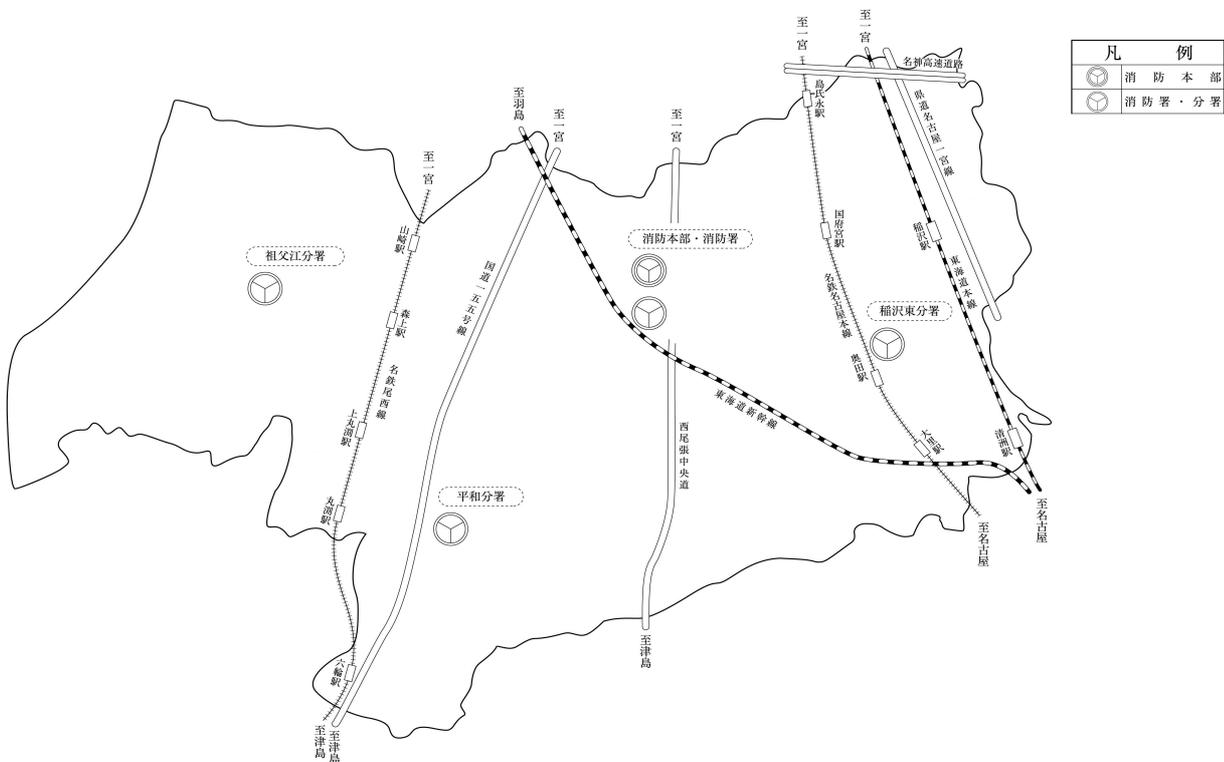
平成27年1月1日現在

区分	面積(k m ²)	人口(人)			世帯数
		男	女	合計	
稲沢市	79.30	68,656	69,870	138,526	52,457

消防本部・消防署 名称・所在地

署別	所在地
消防本部・消防署	稲沢市船橋町鯉坪321番地1
稲沢東分署	稲沢市井之口沖ノ田町37番地
祖父江分署	稲沢市祖父江町上牧下川田454番地
平和分署	稲沢市平和町中三宅高道34番地

消防本部・消防署配置図



緊急出動概況

消防部隊の緊急出動状況は、第1表のとおり6,777件で、前年と比較して228件増加している。

1日当りの平均出動件数は18.6件となっている。また、火災、救急及び救助出動以外に、955件の緊急出動をしている。緊急出動を種別に見ると、救急出場が5,647件(83.3%)と最も多く、次いで、救急支援出動が779件(11.5%)、警戒出動が140件(2.1%)の順となっている。

第1表 緊急出動状況

種別 署別		火災	救急	救助	警戒	調査	救急支援	その他	合計	比率
		本署	平成25年	30	2,290	36	56	8	225	2
	平成26年	40	1,864	44	54	7	255	4	2,268	33.5%
稲沢東分署	平成25年	15	1,729	16	35	21	238	0	2,054	31.4%
	平成26年	27	2,151	16	35	9	274	3	2,515	37.1%
祖父江分署	平成25年	13	783	5	16	1	130	2	950	14.5%
	平成26年	17	875	1	24	7	126	4	1,054	15.5%
平和分署	平成25年	19	729	4	26	4	115	1	898	13.7%
	平成26年	20	757	10	27	1	124	1	940	13.9%
合計	平成25年	77	5,531	61	133	34	708	5	6,549	100.0%
	比率	1.2%	84.5%	0.9%	2.0%	0.5%	10.8%	0.1%		
	平成26年	104	5,647	71	140	24	779	12	6,777	100.0%
	比率	1.5%	83.3%	1.0%	2.1%	0.4%	11.5%	0.2%		

- (注) 1 「警戒出動」とは、ガス漏えい、危険物漏えい、即時通報、怪煙その他災害の発生が予想されるときに出動するものをいう。
- 2 「調査出動」とは、事後聞知火災その他災害の予防上必要と認められるときに出動するものをいう。
- 3 「救急支援出動」とは、119番通報時に心肺機能停止傷病者と判断されたとき、所轄の救急隊が出場中のとき、交通事故等の発生場所が幹線道路のとき、傷病者が過体重のとき、発生場所が狭隘・高所・低所のとき、加害事故のとき等で、救急隊の活動を支援するために出動するものをいう。
- 4 「その他出動」とは、傷病者の捜索のとき、河川等における人の捜索のとき、遺体の収容のとき、動物の救出及び除去のとき等に出動するものをいう。

緊急出動件数を月別に見ると、第2表のとおり年間を通じて平均的に出動している。火災、救急及び救助出動以外では、救急支援出動は月平均で64.9件、警戒出動は月平均で11.7件出動している。

第2表 月別緊急出動状況

種別・署別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災	本署	2	6	8	6	3	3	2	0	3	3	2	2	40	104
	稲沢東分署	3	2	5	2	1	4	1	1	2	1	3	2	27	
	祖父江分署	1	4	4	3	1	0	2	0	1	1	0	0	17	
	平和分署	0	4	9	4	0	1	0	0	1	1	0	0	20	
	小計	6	16	26	15	5	8	5	1	7	6	5	4	104	
救急	本署	210	232	200	129	139	132	141	125	123	140	129	164	1,864	5,647
	稲沢東分署	179	140	139	183	194	170	188	192	172	192	200	202	2,151	
	祖父江分署	69	73	82	65	74	77	72	64	68	69	77	85	875	
	平和分署	70	64	59	59	49	59	66	66	68	63	53	81	757	
	小計	528	509	480	436	456	438	467	447	431	464	459	532	5,647	
救助	本署	7	4	2	4	4	4	2	2	3	3	5	4	44	71
	稲沢東分署	2	1	1	2	3	1	0	0	2	1	2	1	16	
	祖父江分署	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	平和分署	0	1	0	1	0	0	0	0	2	3	2	1	10	
	小計	9	6	3	8	7	5	2	2	7	7	9	6	71	
警戒	本署	2	3	4	1	8	2	2	5	6	7	7	7	54	140
	稲沢東分署	1	6	3	0	2	2	5	2	3	3	3	5	35	
	祖父江分署	1	3	3	0	0	1	4	0	1	3	3	5	24	
	平和分署	1	4	3	2	3	2	2	5	0	1	4	0	27	
	小計	5	16	13	3	13	7	13	12	10	14	17	17	140	
調査	本署	0	0	0	1	0	3	0	0	0	1	0	2	7	24
	稲沢東分署	0	1	1	2	0	0	0	0	1	2	2	0	9	
	祖父江分署	0	0	0	0	0	2	0	1	3	1	0	0	7	
	平和分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	小計	0	1	1	3	0	5	0	1	4	4	3	2	24	
救急支援	本署	27	23	16	14	24	21	25	17	19	22	24	23	255	779
	稲沢東分署	32	27	24	22	23	13	10	22	14	32	34	21	274	
	祖父江分署	12	18	12	13	8	9	5	13	8	7	12	9	126	
	平和分署	13	13	12	14	8	6	8	9	10	9	11	11	124	
	小計	84	81	64	63	63	49	48	61	51	70	81	64	779	
その他	本署	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	4	12
	稲沢東分署	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3	
	祖父江分署	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4	
	平和分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	小計	0	1	2	0	2	1	2	1	1	1	0	1	12	
合計		632	630	589	528	546	513	537	525	511	566	574	626	6,777	

訓練指導及び調査概況

訓練指導及び調査状況は、第1表のとおり2,482回で、前年と比較して124回増加している。1日当りの平均では、訓練指導は2.0回、調査回数は4.8回となっている。

訓練指導及び調査回数を種別に見ると、75歳以上の1人暮らしの高齢者を対象とした住宅防火査察を1,360戸(54.8%)実施しており、次いで地理水利調査が332回(13.4%)、消防団訓練指導が256回(10.3%)の順となっている。

自主防災会、事業所及び教育機関については、合計328団体(13.2%)に対して訓練指導を実施している。

第1表 訓練指導及び調査状況

種別 署別		消防団 訓練指導	自主 防災会 訓練指導	事業所 訓練指導	教育機 関訓練 指導	普通救 命講習 会	消防署 見学	住宅防 火査察	地理水 利調査	枯草調 査	はしご 車接梯 調査	合計	比率
本署	平成25年	104	33	37	30	76	24	448	88	23	6	869	36.8%
	平成26年	116	35	51	46	70	20	459	115	24	4	940	37.8%
稲沢東分署	平成25年	29	40	43	10	20	6	582	73	15	0	818	34.7%
	平成26年	31	39	45	13	19	7	518	108	19	0	799	32.2%
祖父江分署	平成25年	54	12	20	9	8	4	182	64	12	0	365	15.5%
	平成26年	72	10	24	8	10	4	213	51	14	0	406	16.4%
平和分署	平成25年	29	19	25	11	8	2	136	65	11	0	306	13.0%
	平成26年	37	23	19	15	4	3	170	58	8	0	337	13.6%
合計	平成25年	216	104	125	60	112	36	1,348	290	61	6	2,358	100.0%
	比率	9.2%	4.4%	5.3%	2.5%	4.7%	1.5%	57.2%	12.3%	2.6%	0.3%		
	平成26年	256	107	139	82	103	34	1,360	332	65	4	2,482	100.0%
	比率	10.3%	4.3%	5.6%	3.3%	4.1%	1.4%	54.8%	13.4%	2.6%	0.2%		

- (注) 1 訓練指導、講習会及び見学は、各種団体等からの依頼に基づき行うものをいう。
 2 査察及び調査は、消防署の計画に基づき行うものをいう。
 3 住宅防火査察の数値については、調査した対象戸数をいう。

月別訓練指導及び調査状況は、第2表のとおり普通救命講習会及び地理水利調査は、年間を通して平均的に実施している。消防団訓練指導はポンプ車操法指導の関係で4月及び5月に、自主防災会等の訓練指導は防災訓練等の関係で9月以降に集中的に実施している。

住宅防火査察や枯草調査は、それぞれの目的に応じて実施しているため、実施月に偏りが生じている。

第2表 月別訓練指導及び調査状況

種別・署別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
消防団 訓練指導	本署	0	0	0	36	40	17	15	6	0	1	1	0	116	256
	稲沢東分署	0	0	0	15	16	0	0	0	0	0	0	0	31	
	祖父江分署	0	0	0	39	32	0	0	1	0	0	0	0	72	
	平和分署	1	0	0	20	16	0	0	0	0	0	0	0	37	
	小計	1	0	0	110	104	17	15	7	0	1	1	0	256	
自主防災会 訓練指導	本署	2	0	5	2	0	3	4	0	2	8	8	1	35	107
	稲沢東分署	2	2	1	1	2	3	1	3	8	7	9	0	39	
	祖父江分署	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2	4	0	10	
	平和分署	0	1	1	0	3	2	1	4	5	2	2	2	23	
	小計	4	3	7	3	5	10	6	7	17	19	23	3	107	
事業所 訓練指導	本署	0	1	1	3	7	10	2	3	2	8	11	3	51	139
	稲沢東分署	3	1	4	8	1	3	2	2	5	12	3	1	45	
	祖父江分署	1	1	1	1	4	2	3	0	5	2	3	1	24	
	平和分署	1	0	4	0	2	1	1	1	1	2	5	1	19	
	小計	5	3	10	12	14	16	8	6	13	24	22	6	139	
教育機関 訓練指導	本署	0	0	2	1	9	10	1	10	1	4	8	0	46	82
	稲沢東分署	0	0	1	0	1	0	0	3	2	3	3	0	13	
	祖父江分署	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	3	1	8	
	平和分署	1	0	1	0	0	2	2	2	0	3	4	0	15	
	小計	1	0	4	1	10	12	6	15	3	11	18	1	82	
普通救命 講習会	本署	4	4	4	3	4	6	10	14	9	4	5	3	70	103
	稲沢東分署	0	3	1	2	3	5	1	2	0	1	1	0	19	
	祖父江分署	0	1	1	1	0	1	2	0	2	1	0	1	10	
	平和分署	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	4	
	小計	4	8	7	6	8	12	13	16	12	7	6	4	103	
消防署見学	本署	0	0	1	5	5	3	0	1	3	1	1	0	20	34
	稲沢東分署	0	0	0	0	3	0	1	0	0	2	1	0	7	
	祖父江分署	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	4	
	平和分署	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	3	
	小計	0	0	1	8	8	3	1	2	3	5	2	1	34	
住宅防火査察	本署	84	0	0	0	0	0	0	0	0	134	117	124	459	1,360
	稲沢東分署	91	3	0	0	0	0	0	0	0	138	142	144	518	
	祖父江分署	44	0	0	0	0	0	0	0	0	44	72	53	213	
	平和分署	39	0	0	0	0	0	0	0	0	40	54	37	170	
	小計	258	3	0	0	0	0	0	0	0	356	385	358	1,360	
地理水利調査	本署	10	14	1	5	5	10	17	21	1	10	13	8	115	332
	稲沢東分署	5	13	19	5	5	3	10	25	14	2	4	3	108	
	祖父江分署	3	5	9	5	8	2	3	4	7	0	2	3	51	
	平和分署	6	4	2	6	6	4	7	8	0	0	4	11	58	
	小計	24	36	31	21	24	19	37	58	22	12	23	25	332	
枯草調査	本署	6	1	2	0	0	0	0	0	0	0	8	7	24	65
	稲沢東分署	6	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	8	19	
	祖父江分署	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	14	
	平和分署	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	8	
	小計	20	6	5	1	0	0	0	0	0	0	9	24	65	
はしご車 接梯調査	本署	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	4	4
	稲沢東分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	祖父江分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	平和分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	4	
合計		317	59	66	162	173	90	86	113	70	435	489	422	2,482	

(注) 住宅防火査察の数値については、調査した対象戸数

予 防 概 況

消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況は第1表のとおりである。

1日あたりの届出状況は平均10.8件である。届出状況を見ると道路工事届出書が最も多く1,094件(27.7%)、次いで消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書が947件(24.0%)となっている。

第1表 消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況

届 出 項 目	件 数	比 率
工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届 出 書	198	5.0%
消 防 用 設 備 等 (特 殊 消 防 用 設 備 等) 設 置 届 出 書	166	4.2%
消 防 用 設 備 等 (特 殊 消 防 用 設 備 等) 点 検 結 果 報 告 書	947	23.9%
防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届 出 書	246	6.2%
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届 出 書	235	5.9%
道 路 工 事 届 出 書	1,094	27.7%
消 防 職 員 の 派 遣 ・ 指 導 ・ 消 防 訓 練 実 施 届 出 書	739	18.7%
変 電 ・ 蓄 電 ・ 発 電 設 備 設 置 届 出 書	55	1.4%
禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請 書	31	0.8%
催 物 開 催 届 出 書	14	0.4%
露 店 等 の 開 設 届 出 書	50	1.3%
溶 接 溶 断 作 業 届 出 書	23	0.6%
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出 書	83	2.1%
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	38	0.9%
厨 房 設 備 設 置 届 出 書	2	0.1%
ヒートポンプ・サウナ・ボイラー・給湯湯沸設備設置届出書	34	0.9%
合 計	3,955	100%

区分別消防同意状況は第2表のとおりである。1箇月あたり平均14.8件の消防同意を実施している。区分別では新築が132件（74.2%）である。

第2表 区分別消防同意状況

区分	月別												合計	比率
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
新 築	11	9	14	17	13	6	9	10	6	15	9	13	132	74.2%
増 築	3	5	3	2		2	7	7	2	5	3	2	41	23.0%
改 築				1									1	0.6%
用 途 変 更							1				1		2	1.1%
そ の 他			1						1				2	1.1%
合 計	14	14	18	20	13	8	17	17	9	20	13	15	178	100.0%

消防用設備等の検査状況は第3表のとおりである。

第3表 消防用設備等の検査状況

消防用設備等	月別												合計	比率		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
消 火 器 設 備	消 火 器	2	5	11	4	6	10	4	4	2	3	3	4	58	19.2%	
	屋 内 消 火 栓 設 備	1	1	3	1	5	4		2		2			19	6.3%	
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備			1		1								2	0.7%	
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備			2	2	1	6	2	2	4	2	1		22	7.3%	
	屋 外 消 火 栓 設 備			3	1	3	2		2		1			12	3.9%	
	泡 消 火 設 備															
	粉 末 消 火 設 備			1	1	1								3	1.0%	
	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備					1	1				1			3	1.0%	
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備															
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	3	5	14	4	8	13	5	5	3	4	7	2	73	24.2%	
	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備			2		1	2			2	2	1		10	3.3%	
	非 常 警 報 器 具 ・ 設 備	1	1		1	1	1	1		1	1	2		11	3.6%	
	非 常 放 送 設 備	1	1	1			5	2			1	1		12	4.0%	
避 難 設 備	避 難 器 具		2	4	2	1	3	1	1		1			15	5.0%	
	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識	2	3	11	2	8	9	6	4	2	3	3	5	58	19.2%	
そ の 他	消 防 用 水															
	連 結 送 水 管				1		1				1			3	1.0%	
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備				1									1	0.3%	
	排 煙 設 備															
合 計	10	18	53	20	37	57	21	21	13	22	17	13	302	100.0%		

平成26年中における稲沢市内の危険物施設は292施設であり、その内の危険物製造所等の許可・届出状況は第4表のとおりである。

第4表 危険物製造所等の許可・届出状況

製造所等別 区分		製 造 所	貯 蔵 所					取 扱 所				合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所		移 送 取 扱 所
許 可	設 置		1	1	1				2			3	8
	変 更		2		1	2			12			26	43
仮 使 用 承 認			2			2			11			23	38
完成検査	設 置		1	1	1	2			2			3	10
	変 更		2		1	2			11			28	44
予 防 規 程 認 可									4				4
軽 微 な 工 事 届				2					10			16	28
品名・数量・倍数変更届			1										1
保安監督者選任・解任届			18	4		2			11			9	44
廃 止 届			1			3			3				7
合 計			27	8	4	14			66			108	227

(注) 危険物施設数は平成26年12月31日現在

火 災 概 況

火災の状況をみると第1表のとおり、出火件数が80件と前年（63件）に比べ17件増加し、建物火災は前年と比較すると9件の増加となっており、り災世帯及びり災人員についても増加している。

火災種別で見ると、その他の火災45件が全体の56.3%と最も高い割合であり、次いで建物火災が29件で36.3%、車両火災が6件で7.5%となっている。

第1表 平成26年中の火災概況と前年との比較

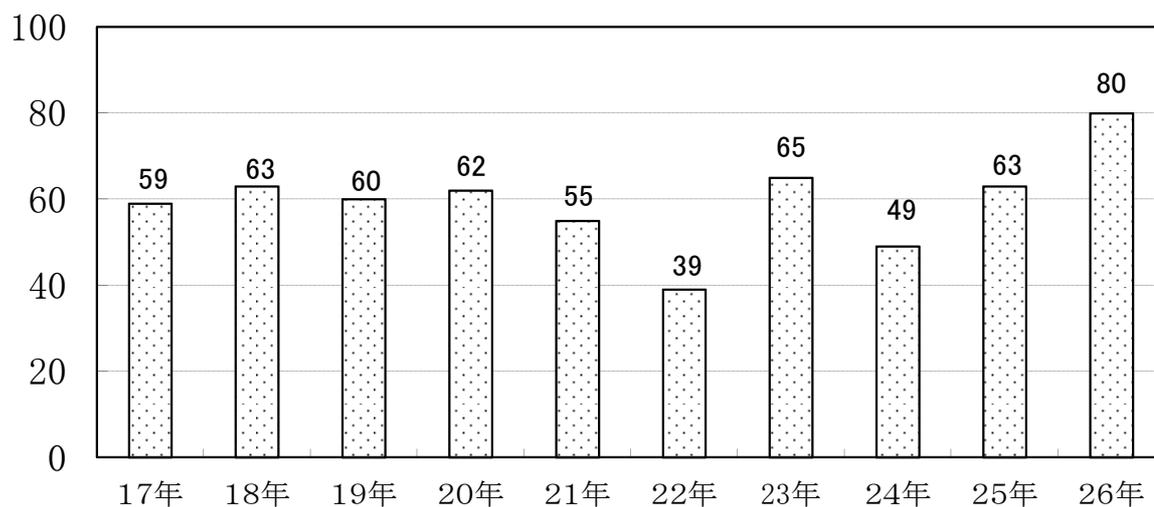
区 分	単位	平成26年(A)	平成25年(B)	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
出 火 件 数	件	80	63	17	27.0
建物火災		29	20	9	45.0
車両火災		6	7	-1	-14.3
その他の火災		45	36	9	25.0
焼 損 棟 数	棟	42	26	16	61.5
全 焼		9	5	4	80.0
半 焼		1	1	0	0.0
部分焼		18	5	13	260.0
ぼ や		14	15	-1	-6.7
建物焼損床面積	m ²	2,920	506	2,414	477.1
死 者	人	0	2	-2	200.0
負傷者		8	3	5	166.7
り 災 世 帯	世帯	29	17	12	70.6
り 災 人 員	人	73	59	14	23.7
損害額	千円	339,096	52,326	286,770	548.0
建物火災		329,443	50,128	279,315	557.2
車両火災		2,525	1,105	1,420	128.5
その他火災		7,128	1,093	6,035	552.2
出 火 率	—	5.8	4.5	1.3	26.7

- (注) 1 死者は、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者をいう。
 2 出火率は、人口1万人当たりの出火件数の割合をいう。
 3 損害額及び増減率は、表示単位未満を四捨五入した。

年別出火件数

過去10年間でみると第1図のとおり、平成26年が80件と最も多く、次いで平成23年の順となっている。平成17年以降の5年間は、60件前後でほぼ横ばい状態である。平成22年は39件と最も少なくなっているが、平成23年以降増加し、平成26年は80件で、1日当たりの出火件数は0.22件であり、約4.6日に1件の割合で火災が発生している。

(件) 第1図 年別出火件数



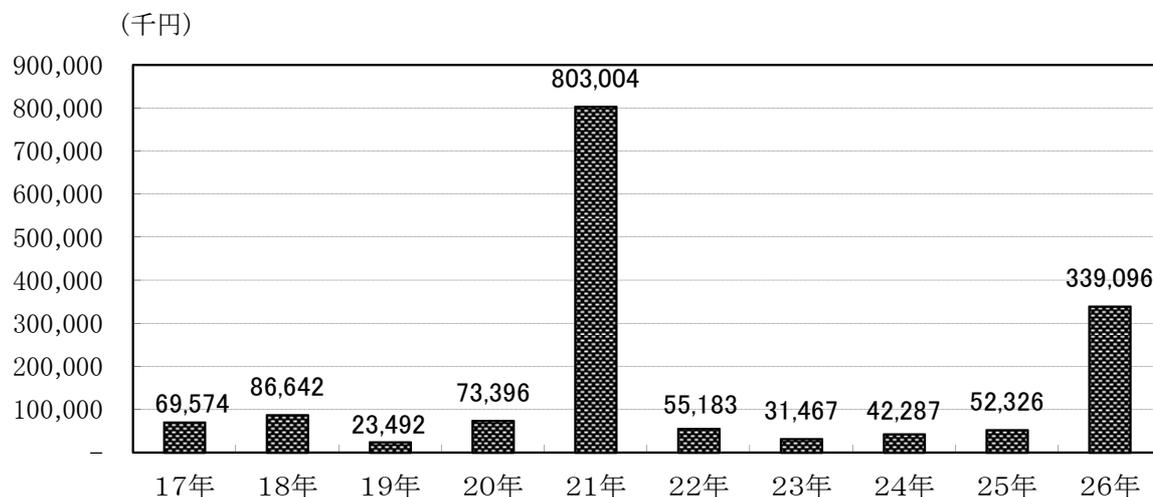
年別損害額

損害額は339,096千円であり、前年(52,326千円)に比べ286,770千円増している。また、火災1件当たりでは4,239千円となっており、前年(831千円)と比べ3,408千円増加している。

過去10年間の損害額をみると第2図のとおり平成21年が圧倒的に多く、次いで平成26年、平成18年の順となっている。

なお、損害額の97%が建物火災によるものである。

第2図 年別損害額



署別出火件数

出火件数の80件を署別にみると第3表のとおり、最も多いのは本署で32件、次いで祖父江分署の20件、稲沢東分署の16件、平和分署の12件の順となっている。

署別出火件数を前年と比べてみると、本署及び祖父江分署は増加、稲沢東分署及び平和分署は減少し、合計で昨年の63件から27.0%増加して80件となっている。

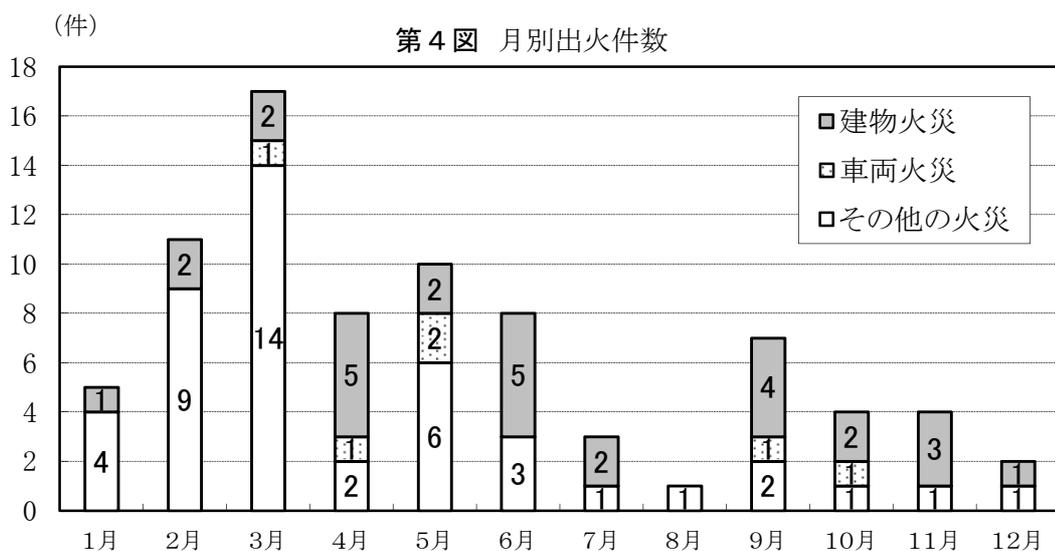
第3表 署別出火件数前年比較

	平成26年(A) 出火件数	平成25年(B) 出火件数	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
本署	32	15	17	113.3
稲沢東分署	16	19	-3	-15.8
祖父江分署	20	13	7	53.8
平和分署	12	16	-4	-25.0
合計	80	63	17	27.0

月別出火件数

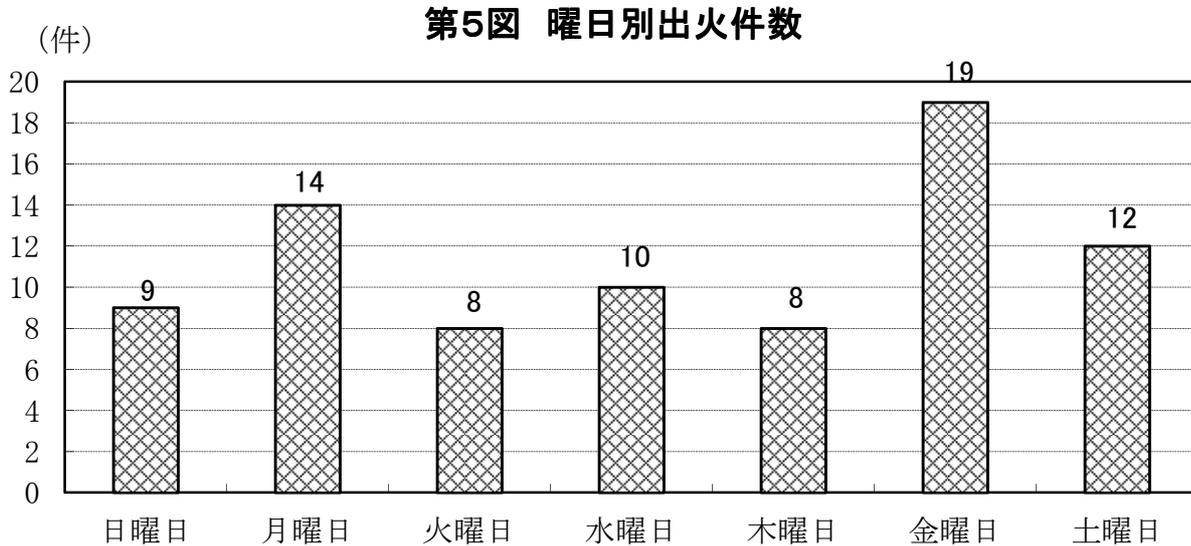
月別の発生状況は、例年、火気を使用する機会が多い冬季から春先にかけて火災が多く発生している。

8月が最も少ない1件であり、火災種別ごとにみると、建物火災は4月及び6月に5件、車両火災は、5月に2件、その他の火災は、3月に14件と最も多くなっている。



曜日別出火件数

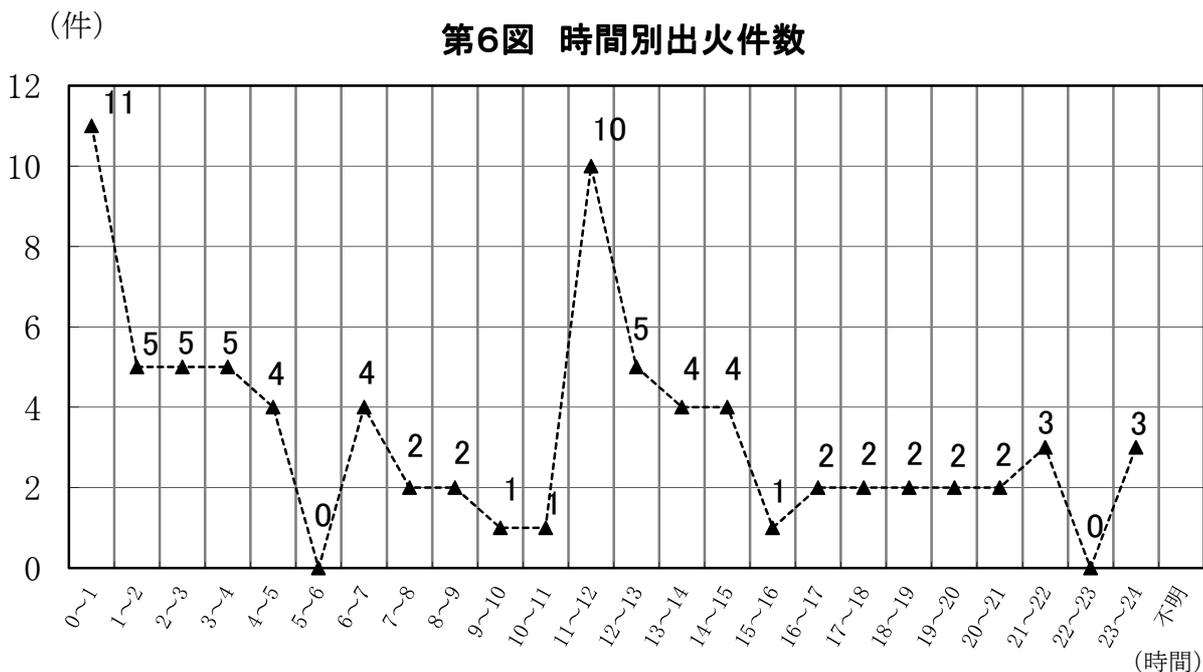
出火件数80件を曜日別にみると第5図のとおり、金曜日が19件と最も多く、次いで月曜日が14件となっている。



時間別出火件数

出火件数80件を時間別にみると第6図のとおり、0時から1時までが11件と最も多くなっており、ついで11時から12時までが10件となっている。

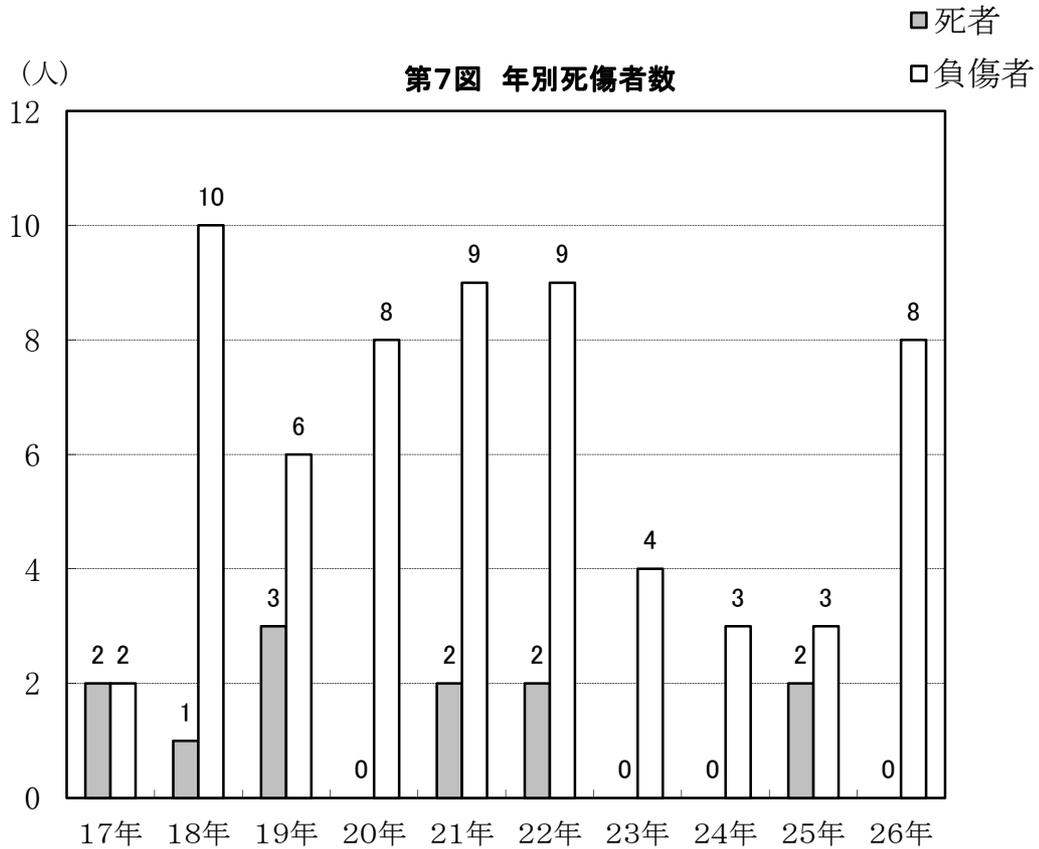
全体的に見ると、就寝している可能性のある23時から6時までの出火件数は33件であり、一般的に家事や仕事をしている6時から23時までに47件と多く発生している。



火災による死傷者数

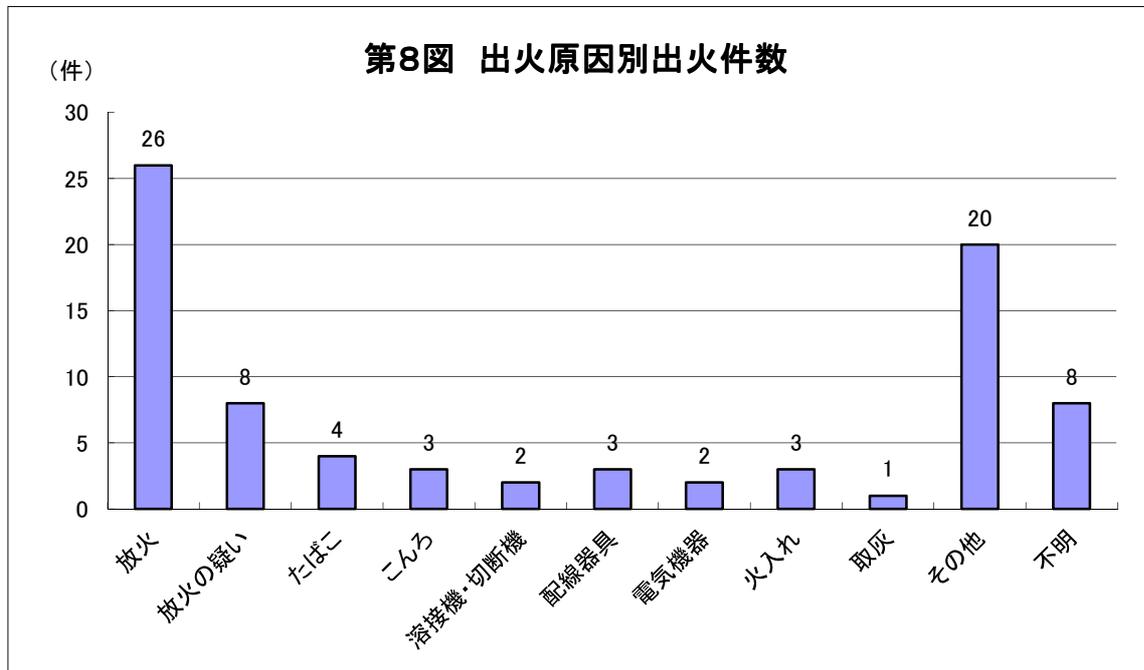
平成26年の火災による死傷者発生状況については、死者0人、負傷者8人であった。過去10年間の死傷者数は第7図のとおり、死者数は平成19年が3人と最も多くなっている。

負傷者数は平成18年が10人と最も多く、次いで平成21年及び平成22年の9人の順となっている。



出火原因別出火件数

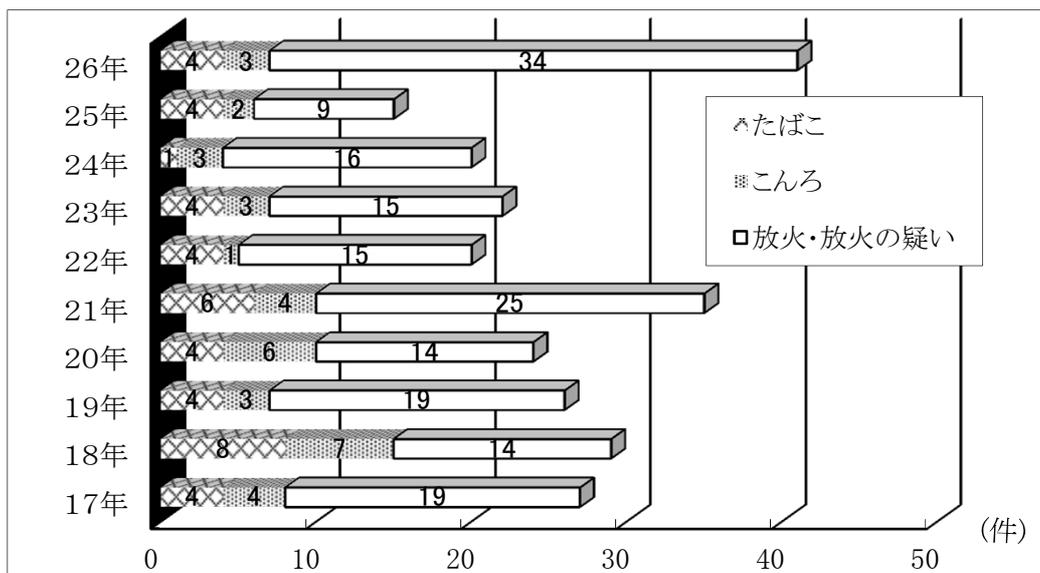
出火件数 80 件を出火原因別にみると第 8 図のとおり、放火・放火の疑いによる火災が 34 件と多く発生し、全体の 43% を占めている。



出火原因の推移

過去 10 年間の主な出火原因の推移をみると第 9 図のとおり、平成 17 年以降放火・放火の疑いによるものが毎年上位を占め、平成 26 年の 34 件を最高に、次いで平成 21 年の 25 件と多く発生している。

第9図 出火原因の推移



救 急 概 況

救急業務実施状況は、第1表のとおり救急出場件数は5,647件で前年と比較して116件(2.1%)増加している。1日当りの平均出場件数は、15.5件の割合で救急隊が出場したことになる。

また、搬送人員は5,440人で前年と比較して91人(1.7%)増加している。
 なお、当消防本部管内の住民25人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

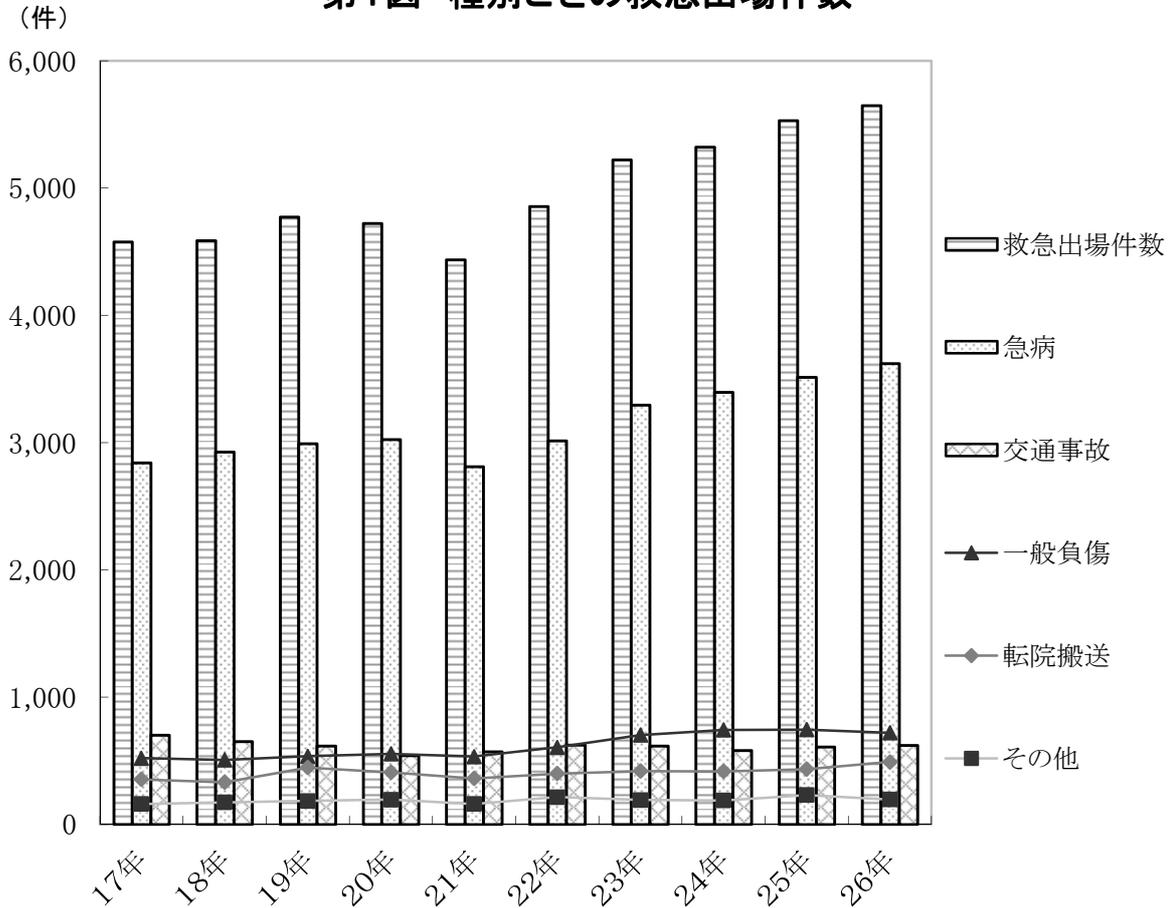
第1表 救急業務実施状況

事故種別			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
署別														
本署	平成25年	件数	11			280	35	24	306	6	26	1,445	157	2,290
		人員	2			296	35	23	298	6	17	1,374	158	2,209
	平成26年	件数	13	1	1	224	18	9	263	4	16	1,206	109	1,864
		人員	4	1		233	18	9	251	4	12	1,131	109	1,772
稲沢東分署	平成25年	件数	11			169	25	12	234	7	21	1,084	166	1,729
		人員	1			177	25	12	227	6	13	1,033	166	1,660
	平成26年	件数	12		1	213	29	9	242	12	19	1,398	216	2,151
		人員	3			217	28	8	241	13	15	1,326	213	2,064
祖父江分署	平成25年	件数			1	82	8	5	99	3	3	506	76	783
		人員				86	8	5	98	3	1	484	76	761
	平成26年	件数	1		2	89	11	1	124		6	529	112	875
		人員	1		1	90	11	1	122		4	511	111	852
平和分署	平成25年	件数	1			77	18	6	106	3	2	479	37	729
		人員				89	18	6	104	3	2	460	37	719
	平成26年	件数				96	13	5	90	2	5	488	58	757
		人員				114	13	5	87	2	2	475	54	752
合計	平成25年	件数	23		1	608	86	47	745	19	52	3,514	436	5,531
		人員	3		0	648	86	46	727	18	33	3,351	437	5,349
	平成26年	件数	26	1	4	622	71	24	719	18	46	3,621	495	5,647
		人員	8	1	1	654	70	23	701	19	33	3,443	487	5,440

種別ごとの救急出場件数

救急出場件数5,647件を種別ごとに見ると、第1図及び第2表のとおりであり、第1図を見ると、急病は今までの最高となり、他についてはほぼ横這いである。

第1図 種別ごとの救急出場件数



第2表

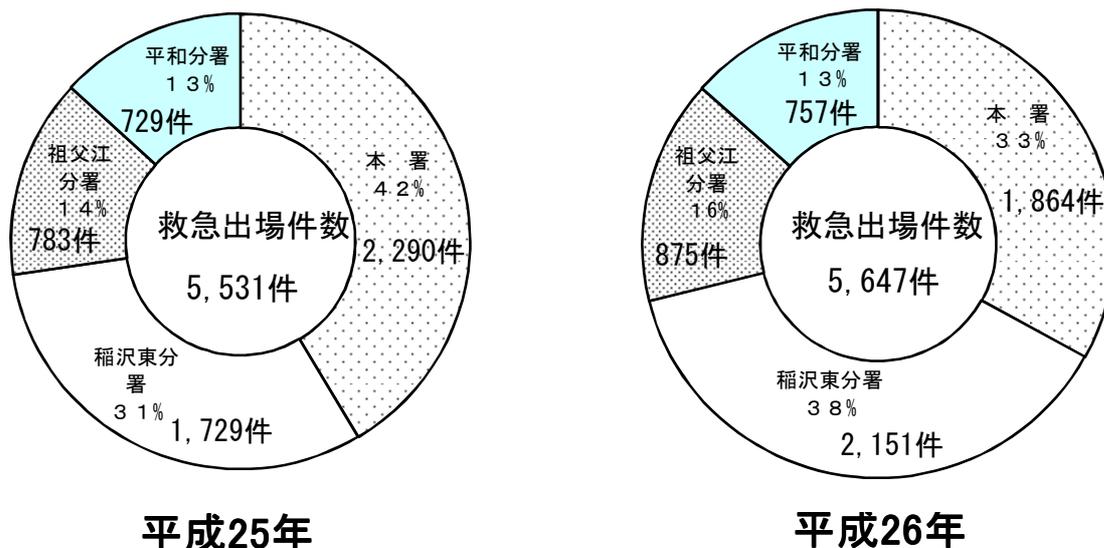
種別 \ 年別	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
救急出場件数	4,576	4,588	4,773	4,722	4,437	4,855	5,221	5,323	5,531	5,647
急病	2,842	2,927	2,992	3,025	2,812	3,014	3,294	3,396	3,514	3,621
交通事故	701	651	616	541	572	623	615	581	608	622
一般負傷	520	506	535	554	532	605	702	742	745	719
転院搬送	353	331	446	408	361	399	418	416	434	490
その他	160	173	184	194	160	214	192	188	230	195

署別救急出場件数

救急出場件数5,647件を署別に見ると第2図のとおり稲沢東分署が2,151件と最も多く、次いで本署、祖父江分署、平和分署の順となっている。これは、平成26年4月から本署の救急車1台を稲沢東分署へ部署異動したことによるものである。

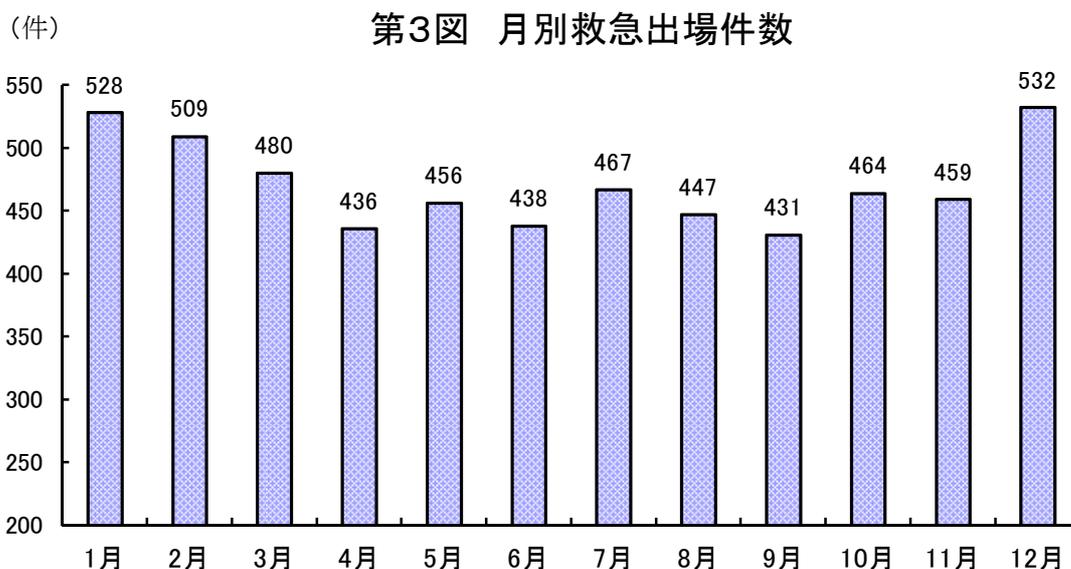
前年と比較すると、4月から救急車の部署異動に伴い本署が426件減少し、稲沢東分署422件、祖父江分署92件、平和分署28件増加したため、合計116件の増加となった。

第2図 署別救急出場件数



月別救急出場件数

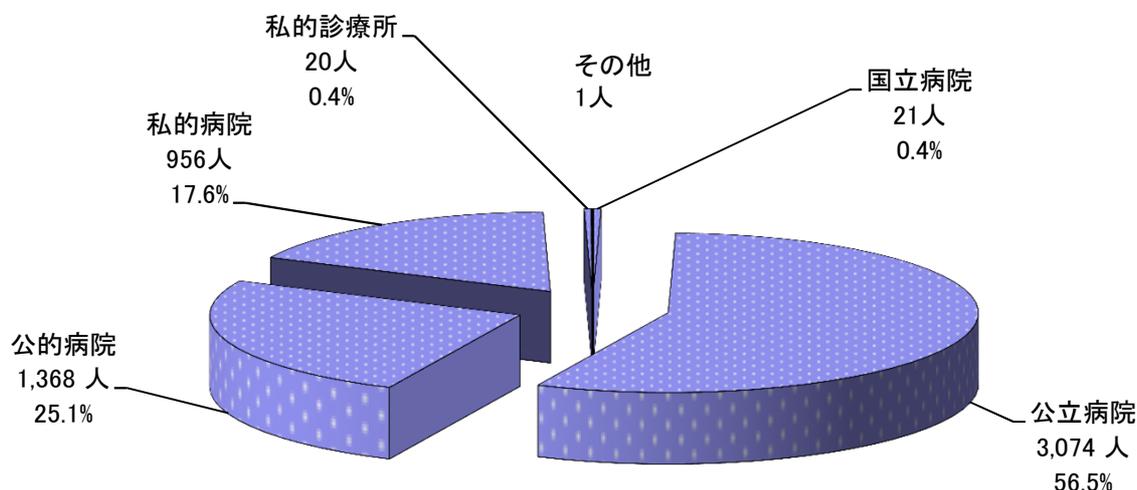
救急出場件数5,647件を月別に見ると、第3図のとおり、12月が532件と最も多く、次いで1月、2月の順となっている。最も少なかったのが9月の431件で、月平均にすると471件となる。



医療機関別搬送人員

搬送された5,440人の搬送状況を医療機関別に見ると、第4図のとおり公立病院が3,074人と最も多く、次いで公的病院、私的病院の順となっている。

第4図 医療機関別搬送病院

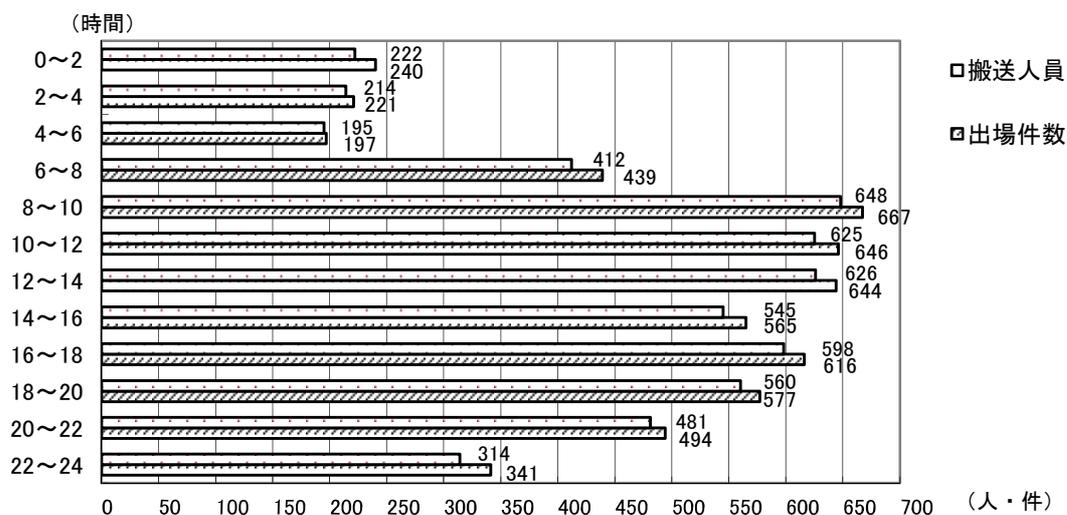


時間別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数5,647件及び搬送人員5,440人を時間別に見ると、第5図のとおりである。

出場件数は8時から10時の時間帯が667件と最も多く、次いで10時から12時、12時から14時の順となっており、最も少ない時間帯は4時から6時の197件となっている。

第5図 時間別救急出場件数及び搬送人員

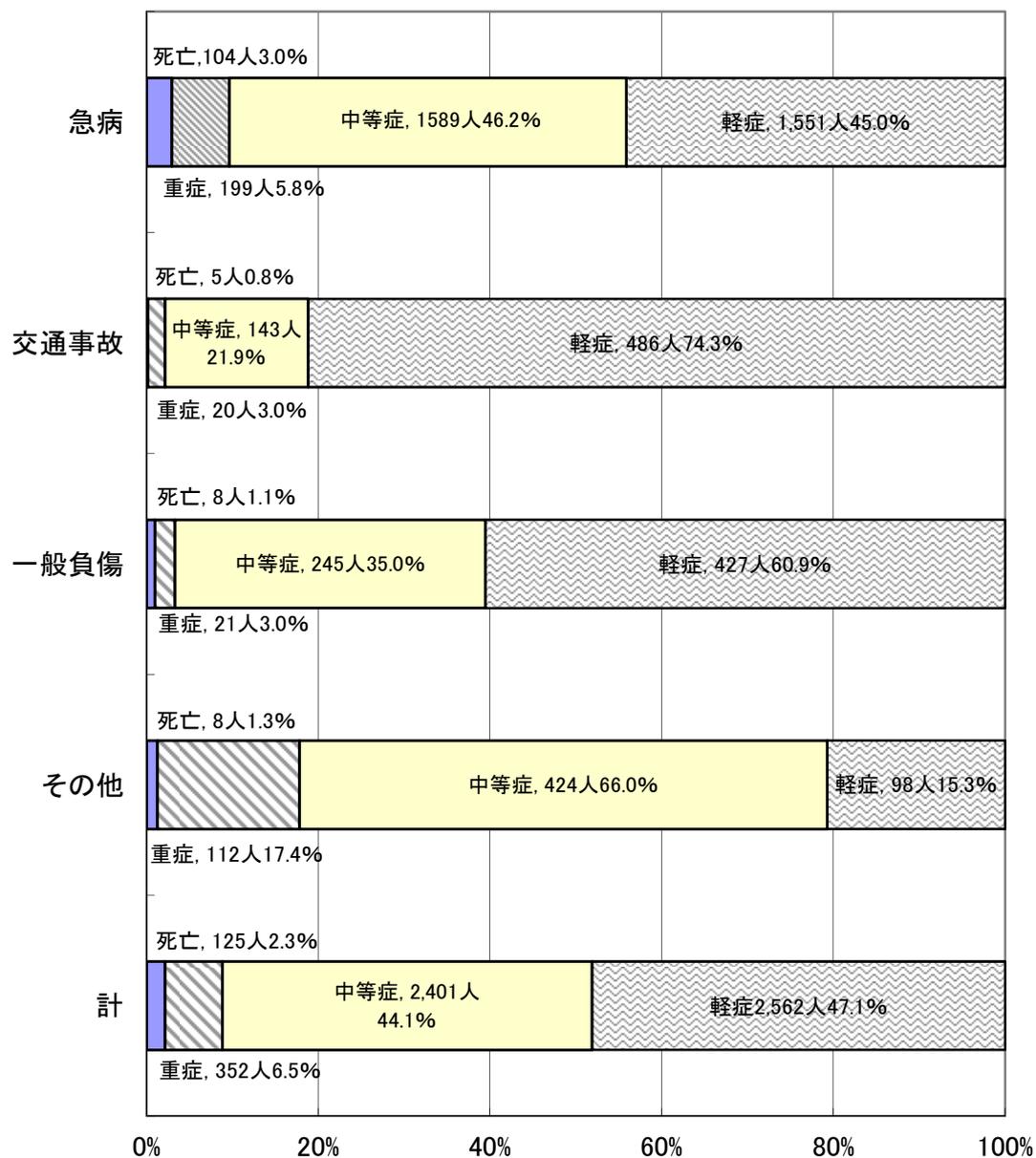


傷病程度別搬送人員

搬送人員5,440人の傷病程度別状況は第6図のとおりであり、軽症が2,562人と最も多く、次いで、中等症、重症、死亡の順となっている。

傷病程度の軽症割合は、交通事故が654人のうち486人(74.3%)が軽症と診断され最も多く、次いで一般負傷、急病、その他の順となっている。

第6図 傷病程度別搬送人員の状況

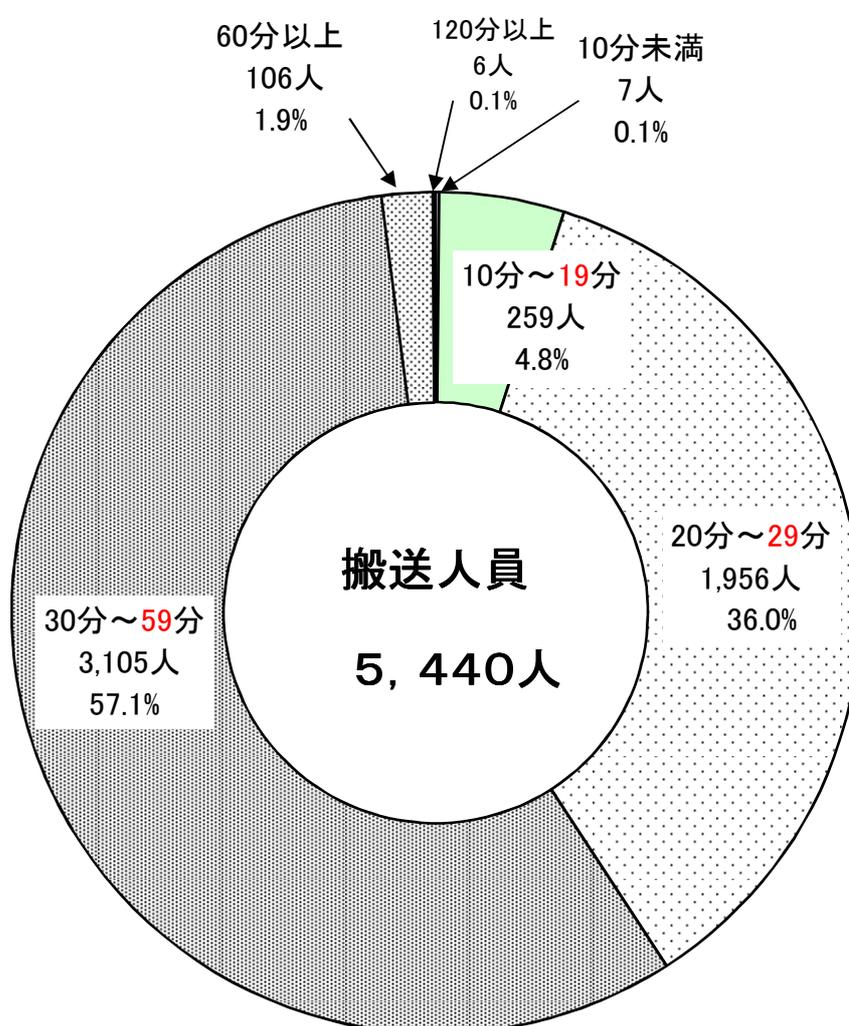


収容所要時間別搬送人員

搬送人員 5,440 人について収容所要時間（救急隊の覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間）を見ると、第7図のとおりである。

搬送人員の 4.9% が 20 分未満に病院に収容され、30 分未満になると 40.9% が収容されている。しかし、30 分以上は 59.1% あり、この中には管外の医療機関への搬送や転院搬送により収容まで時間を要したものが含まれている。

第7図 収容所要時間別搬送人員の状況



曜日別救急出場件数及び搬送人員

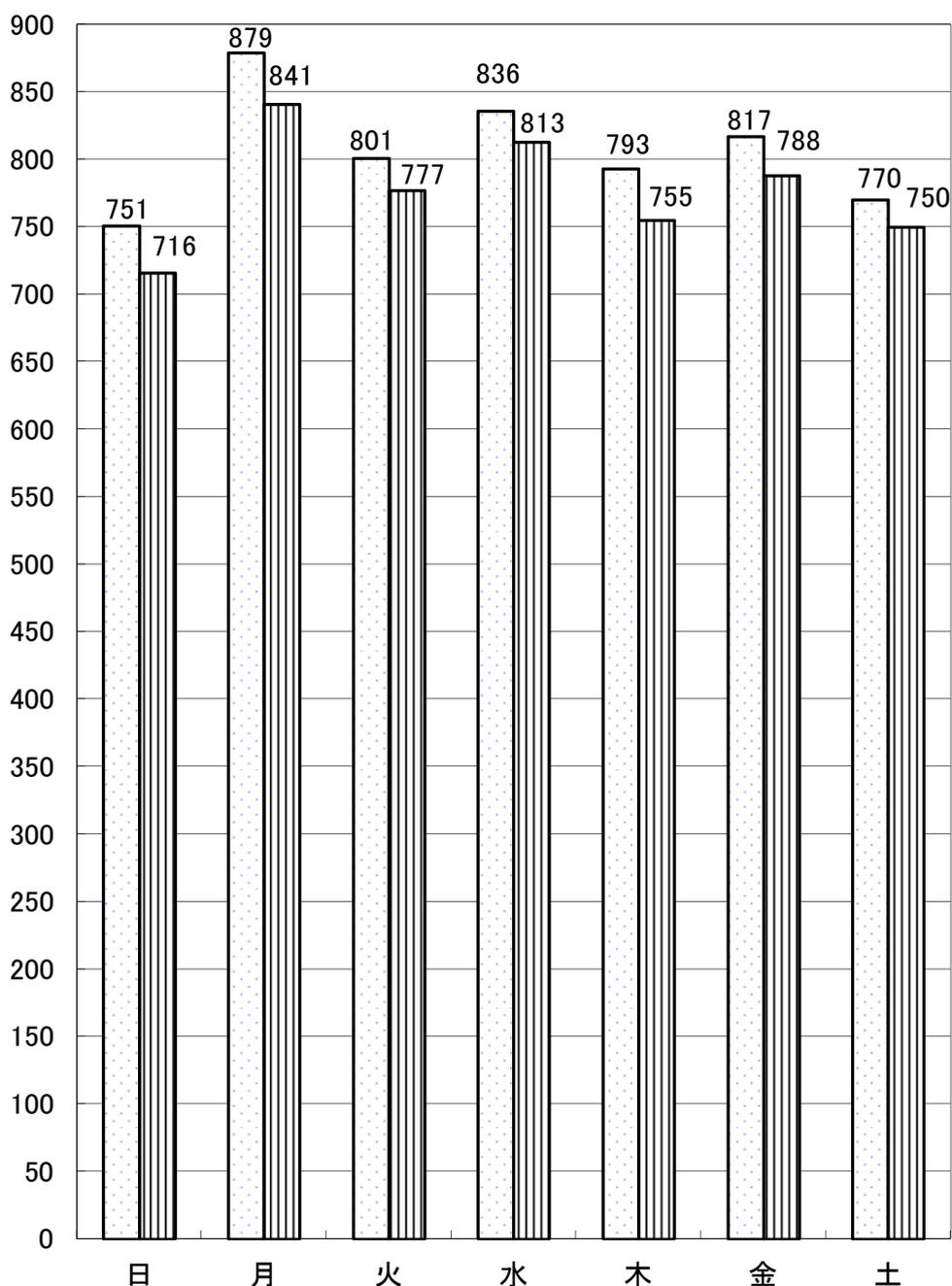
救急出場件数 5,647 件及び搬送人員 5,440 人を曜日別に見ると、第 8 図のとおりである。

出場件数は月曜日が 879 件と最も多く、次いで水曜日、金曜日の順となっており、最も少ないのは日曜日の 751 件となっている。

搬送人員は、月曜日が 841 人と最も多く、次いで水曜日、金曜日の順となっており、最も少ないのは日曜日の 716 人となっている。

(件・人) **第8図 曜日別救急出場件数及び搬送人員** □ 出場件数

▣ 搬送人員



救 助 概 況

救助出動及び活動状況は、第1表のとおりである。

救助出動件数は47件で、前年の35件と比較すると12件増加している。

出動件数を事故種別で見ると、交通事故が25件（53.2%）で最も多く、次いで建物等による事故が11件（23.4%）となっている。

現場活動件数は29件であり、この活動により31人を救出している。

救出人員数を事故種別で見ると、交通事故が16人で全体の51.6%を占めている。

第1表 救助出動及び活動状況

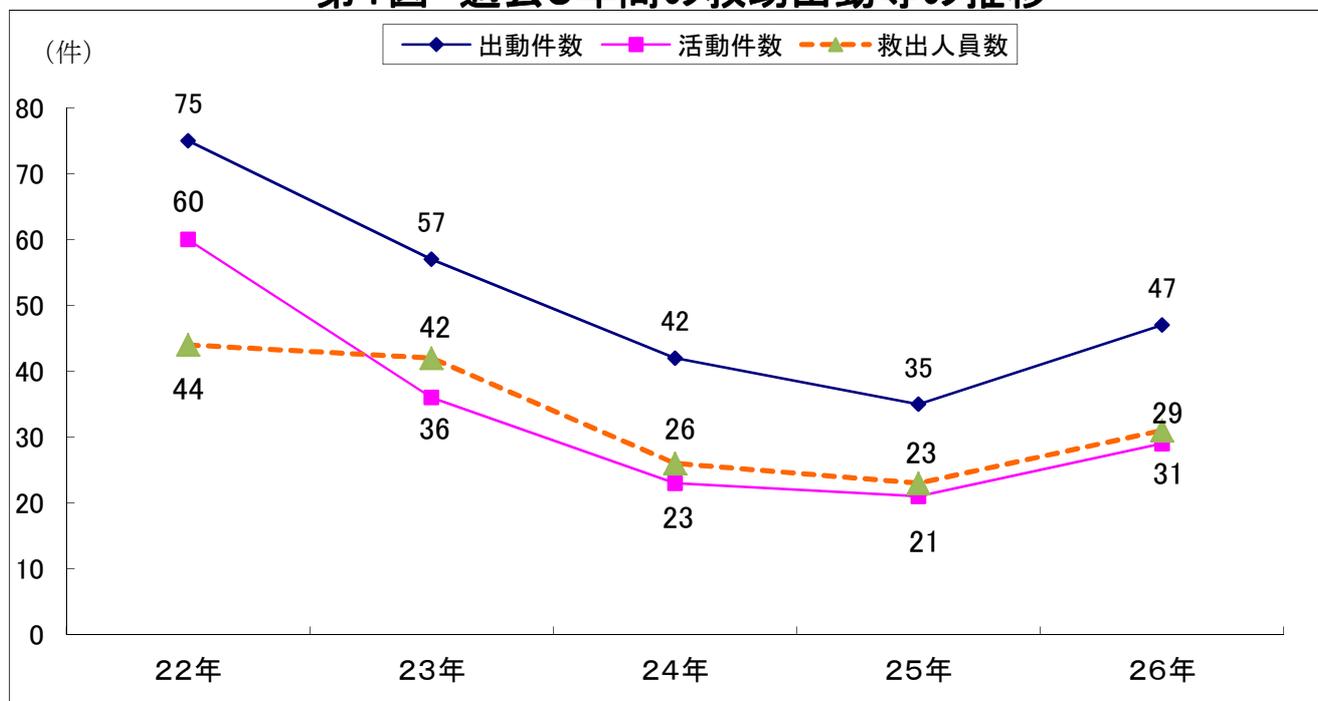
所轄別		事故種別	火災によるもの	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	自然災害	その他の事故	合計
本署	出動件数	平成25年	0	11	0	0	3	0	0	2	16
		平成26年	2	12	0	3	6	0	0	0	23
	活動件数	平成25年	0	6	0	0	2	0	0	1	9
		平成26年	2	8	0	3	3	0	0	0	16
	救出人員	平成25年	0	6	0	0	2	0	0	1	9
		平成26年	0	8	0	3	3	0	0	0	14
稲沢東分署	出動件数	平成25年	1	3	0	1	3	0	0	2	10
		平成26年	1	6	0	1	3	0	0	3	14
	活動件数	平成25年	1	1	0	1	1	0	0	1	5
		平成26年	1	2	0	1	2	0	0	2	8
	救出人員	平成25年	2	1	0	1	1	0	0	1	6
		平成26年	1	6	0	1	2	0	0	2	12
祖父江分署	出動件数	平成25年	0	3	1	1	0	0	0	0	5
		平成26年	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	活動件数	平成25年	0	2	0	1	0	0	0	0	3
		平成26年	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	救出人員	平成25年	0	2	0	1	0	0	0	0	3
		平成26年	0	1	0	0	0	0	0	0	1
平和分署	出動件数	平成25年	0	3	1	0	0	0	0	0	4
		平成26年	0	6	0	0	2	0	0	1	9
	活動件数	平成25年	0	3	1	0	0	0	0	0	4
		平成26年	0	1	0	0	2	0	0	1	4
	救出人員	平成25年	0	4	1	0	0	0	0	0	5
		平成26年	0	1	0	0	2	0	0	1	4
合計	出動件数	平成25年	1	20	2	2	6	0	0	4	35
		比率	2.9%	57.2%	5.7%	5.7%	17.1%	0.0%	0.0%	11.4%	100%
		平成26年	3	25	0	4	11	0	0	4	47
		比率	6.4%	53.2%	0.0%	8.5%	23.4%	0.0%	0.0%	8.5%	100%
	活動件数	平成25年	1	12	1	2	3	0	0	2	21
		平成26年	3	12	0	4	7	0	0	3	29
	救出人員	平成25年	2	13	1	2	3	0	0	2	23
		平成26年	1	16	0	4	7	0	0	3	31

過去5年間の救助出動件数を見ると、第1図のとおり平成22年の75件が最も多く、次いで平成23年の57件となっている。

救助活動件数を見ると、平成22年の60件が最も多く、次いで平成23年の36件となっている。

救出人員数を見ると、平成22年の44人が最も多く、次いで平成23年の42人となっている。

第1図 過去5年間の救助出動等の推移



救助出動した47件を所轄別で見ると、第2図のとおり本署区域が23件(49.0%)と最も多く、次いで稲沢東分署区域が14件(29.8%)となっている。

第2図 所轄別出動状況

